

停車場通信

平成26年（2014年）11月10日発行

日ごろから、備えあれば、憂いなし！

火災や災害が起こった時に落ち着いて行動し、ご近所で助け合えるような関係づくりをするためには、日ごろから地域で訓練などを行い、いざという時に備えておくことが大切になります。

この秋、各町内会で、さまざまな訓練が開催され、多くの方々が参加しました。

10月10日には、ひばりが丘中央会の防火訓練が、ひばりが丘東集会所で行われ、参加した約30名が、119番の通報訓練や消火器の使い方、AEDなどを用いた心肺蘇生の訓練を行いました。実際に火災が発生した時や、身近で人が倒れた時に、あわてずに適切な対応をすることで、被害を最小限に食い止めることができます。



AED 訓練の様子



地図を使ったDIGの様子

また、10月12日には、厚別信濃会館において、厚別中央振興会の秋季防災訓練が行われ、町内会関係者や地域の施設職員など約60名が参加して、簡易型災害図上訓練（DIG）と、非常食の試食を行いました。DIGは、災害が発生した際にどのように対処するかをシミュレーションして、危険箇所や避難経路などを地図上に書き込むというゲーム感覚の訓練です。

山下富三さんが厚別区長から表彰されました！

10月15日に、長年にわたり厚別区のまちづくり活動に貢献してきた功績に対して、前旭町町内会会長の山下富三（やました・とみぞう）さんへ、堀澤純一（ほりさわ・じゅんいち）厚別区長から感謝状が贈呈されました。



山下さん、おめでとうございます！

【厚別中央のひと⑬】

～太鼓の楽しさを伝えたい～

今回は、厚別本陣はなます太鼓の主力メンバーとして小さいころから活躍している、高校2年生の山森愛莉（やまもり あいり）さんを紹介します。

インタビュー

愛用の撥を持つ山森さん



Q) 太鼓はいつどのようにして始めたのですか？

A) 姉や兄がやっていたので、太鼓には自然に親しんでいました。始めたのは6才ころで、仲良しの友達が入ることになり、それがきっかけとなって私も入りました。

Q) 普段の練習の様子をお聞かせください。

A) 土日が練習日で、現在、小2から大学生までの20人ほどの仲間とともに、信濃小学校の学校開放を利用して練習しています。高校の部活でバドミントンをやっているのですが、両立が大変ですが、掛け持ちで頑張っています。普段は、音の強弱や質に気を付けたり、振り付けなどが揃うよう注意したりしながら練習しています。太鼓のたたき方によって音が変わってくるので、そこが難しい点です。

Q) 太鼓の魅力はどんなところですか？

A) 舞台の上で太鼓をたたいていて、みんなの音が揃ったり、迫力を出せたりした時は、本当に楽しいと感じます。それぞれのメンバーが自分たちでフレーズを考え、それを持ち寄って、曲を作っていくこともあります。練習も厳しく、やりたくないと思ったこともありましたが、全国規模のジュニアコンクールに出場し、悔いなく終わることができて、きちんと評価してもらった時には、このメンバーで出場することができて本当によかったと実感しました。太鼓をやっていることでいろいろなところに行けて、いろいろな人たちと関わって、礼儀や言葉遣い、あいさつなどを学ぶことができました。これからも、楽しんで太鼓を続けていきたいですし、自分たちが楽しんでたたいていることが観ている方々にも伝わるとうれしいです。



厚別中央地区演芸大会で太鼓を披露する厚別本陣はなます太鼓のメンバー（左端が山森さん）

歌や食事で過ごす楽しいひととき

10月20日から24日まで、厚別中央地区の5つの会場で、一人暮らしのお年寄りを招待して交流を深めてもらう「さわやか健康茶話会」が開催されました。

各会場では、保健師などによる血圧や握力の測定、食事に行くと効果のある簡単な口腔ケア体操、ピアノ演奏に合わせて昔の流行歌を元気よく歌うコーナーなど、盛りだくさんのプログラムが設けられたほか、お菓子やお弁当を食べながらの懇親の時間も設けられ、参加したお年寄りたちは、話に花を咲かせて交流を深めながら、お昼の楽しいひとときを過ごしていました。



みんなで楽しく歌いました



口腔ケア体操で「ハッ！」



仲良く「ハイ、チーズ！」

厚別区制 25 周年にあたって

厚別区は平成元年11月6日に誕生し、今年で区制25周年を迎えました。

厚別区は今や人口約12万8千人を擁するまちとなり、商業地区や住宅地と豊かな自然が共存し、そして区民の皆さまによるまちづくり活動がいきいきと行われている魅力あふれるまちです。

今後も、これまでの区民の皆さまとの歩みを大切に、区民の皆さまと共に考え、区民の皆さまから信頼される区役所を目指すとともに、魅力ある快適なまちづくりを進めてまいります。

厚別区職員一同、力を尽くしてまいりますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

厚別区長 堀澤 純一

地区カレンダー (行事の詳細については、「広報さっぽろ」やホームページ、各団体のチラシをご覧ください)

| 厚別区・札幌市などの動き | 地区の動き |
|--|---|
| 11月 | 11月 |
| 8日～17日 みんなの！新さっぽろフォトコンテスト作品展(サッポロ・デポ2) 8日～12月7日 さっぽろアートステージ2014 21日～ 第34回さっぽろホワイトイルミネーション 大通公園：～12月25日まで 札幌駅前通：～2月11日まで 南一条通：～2月14日まで 26日～28日 花のチャリティバザー(区民センター) 28日～12月24日 ミュンヘン・クリスマス市(大通公園2丁目) | 11日 冬の交通安全早朝街頭啓発 (国道12号とんでん・ニトリ前) 国道12号沿い植樹柵の花の撤去 (国道12号沿い) 18日 厚別中央地区福祉のまち推進センター施設 訪問・交流研修会(伊達市ほか) 27日 厚別中央地区まちづくり会議 (厚別信濃会館) |
| 12月 | 12月 |
| 27日～1月4日 市役所・区役所 お休み | 27日～1月4日 まちづくりセンターお休み |
| 1月 |  |
| 5日 厚別区新年互礼会(ホテルエミシア札幌) 12日 厚別区新成人のつどい(ホテルエミシア札幌) | |

◆編集後記◆ (所長のつぶやき)

沖縄には、「ゆいまーる」という言葉があります。「ゆい」は「結い」で、共同、結びつきなどを意味し、「まーる」は回る、つまり順番を表すので、「ゆいまーる」は、相互扶助、助け合い、お互いさまという意味になります。厚別中央地区で進めている「防災・福祉支えあい活動」は、まさにこの「ゆいまーる」の精神の実践と言えます。地域ぐるみで支え合っていくことが必要なのは、どの地域でも一緒なんですね。 <中田>

～編集・発行～

厚別中央まちづくりセンター 厚別区厚別中央4条3丁目3-6

電話 011-891-3907 FAX 011-895-0149

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>

